

IAUD Newsletter vol.14 第1号(2021年4月号)目次

1. IAUD 研究部会 2020 年度成果報告会オンライン開催報告.....1
2. IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介③.....5
3. オンライン第5回 UD 検定・初級及び第2回 UD 検定・中級開催のご案内..... 10
4. IAUD 4月の予定.....11



UD 的視点からより豊かな生活を送れる社会の実現へ

IAUD 研究部会 2020 年度成果報告会オンライン開催報告



初のオンライン開催となった「IAUD 研究部会 2020 年度成果報告会」。画面下には情報保障として字幕が表示された。

IAUD 研究部会は 2020 年度の活動の締めくくりとして、「IAUD 研究部会 2020 年度成果報告会」を 3 月 10 日(火)にオンラインで開催しました。

当日は会員など約 20 人が参加する中、3つのプロジェクトと1つのワーキンググループより、これまでの主な活動内容と 2021 年度の活動目標が報告されました。

今年度最初の Newsletter は、「2020 年度 IAUD 成果報告会」開催内容を CM 字幕プロジェクトの田中郷資メンバーが報告します。

情報保障は手話通訳と字幕の同時配信

2020 年度の研究部会は、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように活動ができない中、オンライン会合などを通じて活動を続けてきました。

今回の報告会は、中止となった 2019 年度と合わせた活動報告として初めてオンラインで開催しました。当日の情報保障として、手話通訳と字幕が同時配信されました。

まずは土屋 亮介研究部会長からの開会の挨拶の後、「UD+(プラス)プロジェクト」「CM 字幕プロジェクト」「衣の UD プロジェクト」「標準化研究ワーキンググループ」の順に、2 年間の主な活動内容と 2021 年度の活動目標が報告されました。

UD+プロジェクトからの活動報告:宮脇 伸歩主査、岩崎 昭浩副主査、有馬 慶メンバー

まずは、「学生コンペからの提言」として、「2025 年以降の日本の暮らしと住まい『UD プラス』のプロトタイプを考える」をテーマに 2017 年から 3 回実施した学生コンペからの気づきを「課題」「モノ」「コト」に分類し、以下 4 つの提言に集約しました。

・多様な人に視点を広げ、多幸を生む装置としての暮らし

・「見える UD」と「見えない UD」を両立させ、人の成長へ寄与

・高齢者・障害者も「暮らす」「働く」「交わる」「生きる」がすべてつながった豊かな日常

・中間領域で自然を、災害も自然の一部として取り込む

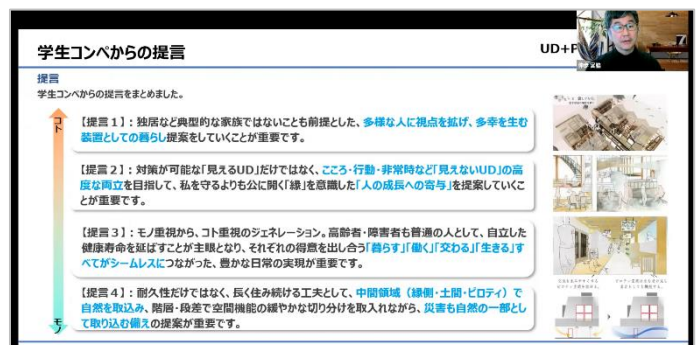
次に、「新空間視察からの提言」として、2004 年から 15 年間、全国 61 の進んだ物件を視察して気づいた「環境」「モチベーション」「UD+」の要素を抽出し、「個人住宅」「共同住宅」「公共施設」ごとに分析した結果を報告しました。

個人住宅に関しては、「環境」と「モチベーション」の掛け合わせで実現する「UD+」をまとめました。

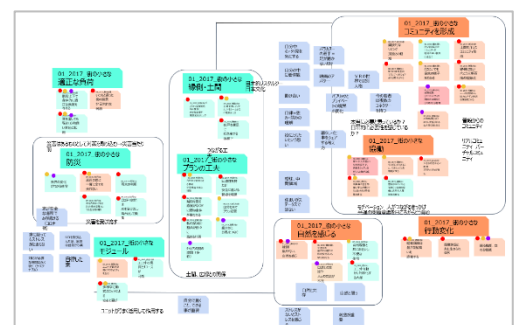
共同住宅に関しては、住民主体のコミュニティと住民相互の交流、それを自ら継続して改善できることがポイントであるとし、対象者の明日の可能性をデザインすることが重要としました。

公共施設(学校やホテル、屋外でのアクティビティなど)に関しては、これからは五感のアフォーダンス(人をある行為に誘導するためのヒントを示すようデザイン)が「UD+」に繋がり、人が行動し健康になり様々な出会いをサポートできるとしました。

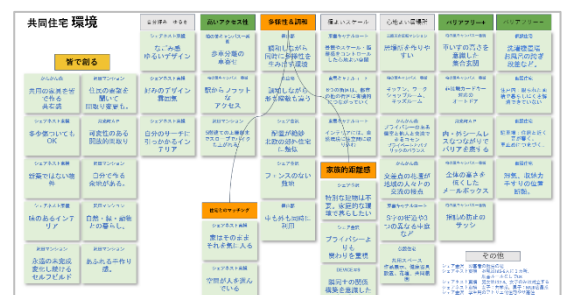
なお、UD+プロジェクトは 2020 年度限りで活動廃止となりました。



UD+プロジェクト活動報告の様子



学生コンペからの気づきを分類



共同住宅の要素を抽出し分析

CM 字幕プロジェクトからの活動報告:高橋 雅尚主査

2020 年度の主な活動報告として、7 月に省庁横断勉強会「ユニバーサル社会を創造する事務次官プロジェクト」に参加し、省庁関係者へ字幕付き CM の現状を伝え、まだ多くの課題があることを認識してもらいました。

さらに、10 月に「字幕付き CM 普及促進協議会」がオンラインで開催した「第 6 回字幕付き CM セミナー」では、字幕付き CM の必要性について説明し、600 人以上の聴講者に活動趣旨を理解していただきました。



「ユニバーサル社会を創造する事務次官プロジェクト」(左写真)と「第 6 回字幕付き CM セミナー」の様子

さらに、字幕付き CM への意識や商品情報をどのように入手しているかなど、実態調査を目的にウェブ上でアンケートを実施し、分析・広報しました。

9 月には日本民間放送連盟、日本アドバタイザーズ協会、日本広告業協会連名の「字幕付き CM 普及推進協議会」より、2022 年 10 月までに全ての番組の CM に字幕を付けることを盛り込んだロードマップが発表されました。業界全体を取り巻き、今後放送枠に合わせて環境を整備しつつ字幕付き CM の広告主を増やし、字幕付加 100%を目指します。

2021 年度は、聴覚障害者の情報入手についての実態調査、テレビ CM のオンライン送稿関係者との情報交換、YouTube チャンネルの活用模索、広告・放送業界における関係団体とのさらなる協力・PR 活動強化、アンケートの拡散を兼ねた CM 字幕応援団の活動拡大を図ります。

そして、SDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)の「誰も取り残されない社会」の理念に向けて、全ての広告主が字幕付き CM に積極的に取り組んでくれることを願って活動を続けていきます。

衣の UD プロジェクトからの活動報告:森 秀男主査

まずは、「衣とイノベーション」をテーマとした冊子「衣・着るⅢ」制作について説明がありました。

今回はテーマを「衣とイノベーション」とし、イラストやデザイン構成から手掛け、現在では編集を仕上げる最終段階に入っています。コロナ禍で作業が遅れましたが、2021 年 6 月中に完成を予定しています。



「衣・着るⅢ」表紙案

2.聴覚障害の現状は

聴覚・言語障害者 (身体障害者手帳保持者)

約34万1千人

平成30年厚生労働省「平成28年生活のしづらなどに関する調査結果」

難聴を自覚している人 (3人に1人)

約3,400万人

平成28年度総務省「字幕付きCM調査報告」

CM 字幕プロジェクト活動報告の様子

次に、おしゃれで機能的な「UD ジーンズ・パンツ」の研究として、パンツのパターンメイキングの研究・開発を進めてきました。生地素材には世界的なデニムメーカーのストレッチデニムを選定し、膝などには衝撃を緩和する素材のステッチング、筋肉に沿った人間工学デザインなど様々な工夫を凝らしています。

また、「UD 視点で読み解く日本独自の現代ファッション研究」では、オリジナルなジャパンファッションをUDの観点から分析・研究し、メンバーで共有しています。

折紙をヒントに造形した衣服や、着易さを追求して着物をヒントにしたドレスなど、日本の伝統が様々な形で新しいファッションに取り入れられていることをまとめています。



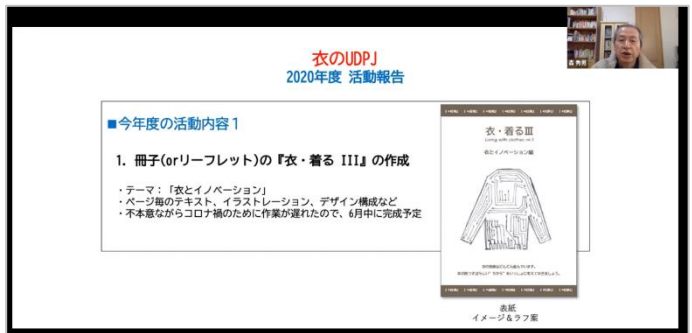
UD ジーンズデザイン案

なお、当初予定していた「UD ジャケット取り扱い説明書作成」は、担当者の体調不良により中止しました。

2021 年度では、持続可能かつ安全安心なUD ファッションを研究する「衣とフェーズフリーデザイン」を研究テーマに加えます。

また、前述した「UD ジーンズ・パンツ」のパターン開発とサンプル作成も行います。

さらに、「UD 視点で読み解く日本独自の現代ファッション研究」についても、引き続きメンバー間で情報収集・共有していきます。



衣の UD プロジェクト活動報告の様子

標準化研究ワーキンググループからの活動報告: 久保 雅義主査

まずは、「体験型小中学校 UD 教育プログラムの教育現場実装」の報告がありました。

これは、支援学校の生徒たちが一般学校に通えるよう「インクルーシブ教育」を確立するために、教育現場にUDを導入するプログラムです。子供たちが疑似体験を通じて、街での気づきやUD改善点を調査することで、UDを理解し共感を高めることを狙いとしています。

2020 年度には実装に向けて大阪府スマートシティ戦略部や大阪教育庁などと打ち合わせましたが、コロナ禍の影響で現在は困難となっています。

また、予定していた東大阪市内中学校でのUD教育に関する講演は緊急事態宣言で中止となり、作成した解説動画を配布しました。

次に、2025 年日本国際博覧会(EXPO2025 大阪・関西万博)に向けた取り組みとして、日本万博協会記念基金と日本財団に公的補助金申請(前者は結果待ち、後者は不採用)、および産経新聞社と株式会社産経アドスを通して後援団体へのアプローチをしました。

2021 年度の活動としては、2025 年日本国際博覧会協会による「TEAM EXPO 2025」プログラムでの共創パートナーへの登録を検討しています。これは、様々なUDテーマ(万博協会共創チャレンジとして認定)を推進できるもので、前述した体験型小中学校UD教育プログラムの実



車いす利用体験



街でUD改善点を調査

装や UD セミナー、視覚障害者のための展示会などを予定しています。

EXPO2025 の理念「一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上と促進」は IAUD の基本理念と一致しており、これらの活動を推進することで、EXPO2025 の成功とより UD な社会環境の構築を目指します。



標準化研究ワーキンググループ活動報告の様子

これまでの活動成果を広く一般に周知へ

最後に川原 啓嗣専務理事から講評がありました。川原専務理事からは、コロナ禍で活動する研究部会会員へのねぎらいの言葉や、今後はさらに SDGs を考慮した UD 活動を行っていただきたい、との話がありました。

これで、「2020 年度 IAUD 成果報告会」すべてのプログラムが終了しました。

研究部会は 2020 年度活動成果の総括をしっかりと行い、2021 年度も活動の一層の推進に努めます。さらに、長年取り組んできた活動成果を有効活用すべく、広報活動にも注力していきます。

そして、コロナ禍でも研究が進められるよう引き続きオンラインでの活動を推進しながら、今後も UD 的な視点から、超高齢化社会を迎えても人々がより豊かな生活を送れるような社会の実現に取り組んでいきます。



川原専務理事



革新的な UD 活動を国際的に表彰

IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介③

IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介の第 3 回目は、共創デザイン部門金賞を受賞した渋谷区／専門学校桑沢デザイン研究所／株式会社フクフクプラスの「障害のある人が描く文字や絵柄をフォント・パターン化したパブリックデータ『シブヤフォント』」です。

ロジャー・コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授)は「シブヤフォント」について、「ポジティブで人生を豊かにする方法で社会的包摂を語りかける、とても明るく革新的な人々の心に響く取り組み。障害者の創造的な能力を認め、多様性を讃えながら民主的かつ共創的な方法で個人や地元の人々、大手企業の積極的な参加を促している」と評価しました。

今号の Newsletter ではこの取り組みについて、株式会社フクフクプラス代表取締役の磯村歩氏に紹介していただきます。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介①は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介②は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション／表彰式開催報告は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

障害者理解に向けた産官学福のソーシャルアクション

共創デザイン部門金賞：障害のある人が描く文字や絵柄をフォント・パターン化したパブリックデータ「シブヤフォント」

渋谷区／専門学校桑沢デザイン研究所／(株)フクフクプラス



「ダイバーシティとインクルージョン」を体現

「ちがいをちからに変える街」を基本構想に掲げる東京都渋谷区は、成熟した国際都市へと進化していくために「ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂）」を理念としています。

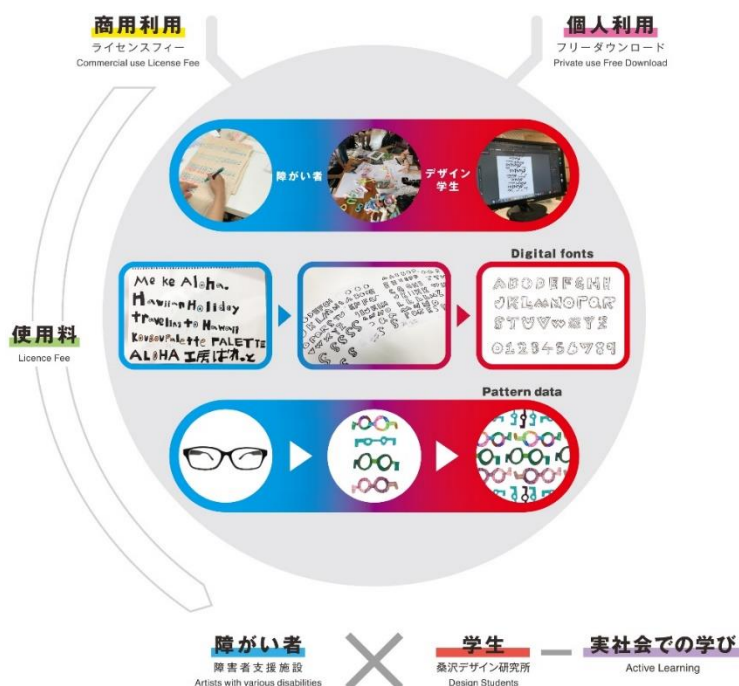
これは、多様な人々を受け入れる（ダイバーシティ）だけにとどまらず、その多様性をエネルギーに変えていく（インクルージョン）ことで、渋谷に集まるすべての人のちからを、まちづくりの原動力にする、ということです。

その理念を体現するため、2016 年に「渋谷みやげ開発プロジェクト」として「シブヤフォント」が生まれました。同区内にある障がい者※支援事業所と専門学校桑沢デザイン研究所の学生による連携で生まれた、「障がい者のある人の文字をフォント化する」という取り組みです。



渋谷区の理念を体現した
「シブヤフォント」

産官学福の共同体制



渋谷区で暮らし働く障がいのある人の描いた大胆でユーモラスで魅力的な文字や絵を、渋谷区でデザインを学ぶ学生がフォントやパターンを制作し、それを渋谷区がパブリックデータ「シブヤフォント」として公開しています。売上の一部は障がい者支援事業所に還元し、障がいのある人の社会参加や経済的自立も目指しています。

様々なモノやコトに使われることで、より多くの人に渋谷を好きになってほしい、そして障がいのある人の活動を知ってほしい、こうした願いを「シブヤフォント」に託しました。

この「産官学福」連携の取り組み「シブヤフォント」は、渋谷区の理念である「ダイバーシティとインクルージョン」につながるソーシャルアクションになっています。

世界初障がい者アートのパブリックリソース化



「シブヤフォント」は、障がい者アートの静的な展示販売ではなく、フォント・パターンに仕立てることで圧倒的な活用を広げており、世界初の障がい者アートのパブリックリソース化に成功しました。

当初は、障がい者支援事業所で製造している菓子折や手織製品を渋谷土産にすべき、との意見もありました。しかし、「フォントならばより多くの人に使ってもらえる」「福祉の世界で生まれたものをもっと社会に広げたい」という、障がい者支援事業所の強い思いがありました。

2 年目からは、フォントだけでなくより幅広く企業の商品採用を促すべく、障がいのある人のイラストなどを縦横につながるようデザインした総柄パターンもラインナップに加えました。

現在、公開している 200 種以上のフォント・パターンには、渋谷土産としての商品採用を促すため「ハチ公」や「スクランブル交差点」など渋谷名所をアレンジしたユニークなパターン、ファッション・雑貨への採用を想定したアーティスティックな総柄パターン、ポスター等のキャッチコピーに使いやすい特徴的なフォントなど、多様な用途を想定したラインナップとなっています。

公式ホームページから誰でもダウンロード可能

より多くの方々に「シブヤフォント」の魅力を体験してもらうため、フォントの個人利用に関してはシブヤフォント公式サイトより無料ダウンロードができるようにしました。

パターンの個人利用は、ポストカード大の採用には十分な解像度のデータをワンコイン(500 円)でダウンロードできるようにし、利益は障がい者支援施設への支援金として活用しています。(商用利用は別途契約し、高解像度データを提供)

さらに、このデータを「渋谷区公認」とすることで、使用者が同区の理念「ダイバーシティとインクルージョン」に共感し、街との一体感を得られ応援するシティプライドの醸成にも成功しました。

※「シブヤフォント」公式サイトは[こちら](#)をご覧ください。

ワンストップでライセンス契約

「シブヤフォント」のラインナップは、90 名以上の著作者(障がいのある人と学生)によって生み出されています。利用するにあたり、著作者と個別に使用許諾契約を締結するのは現実的ではありません。

そのため、著作者、障がい者支援事業所、株式会社フクフクプラス(障がい者アートの専門事業者)が連携し、フクフクプラスを窓口としたライセンス契約の一本化を実現しました。

これにより、複数のフォントやパターンの組み合わせであったとしても、ワンストップでご契約いただけます。

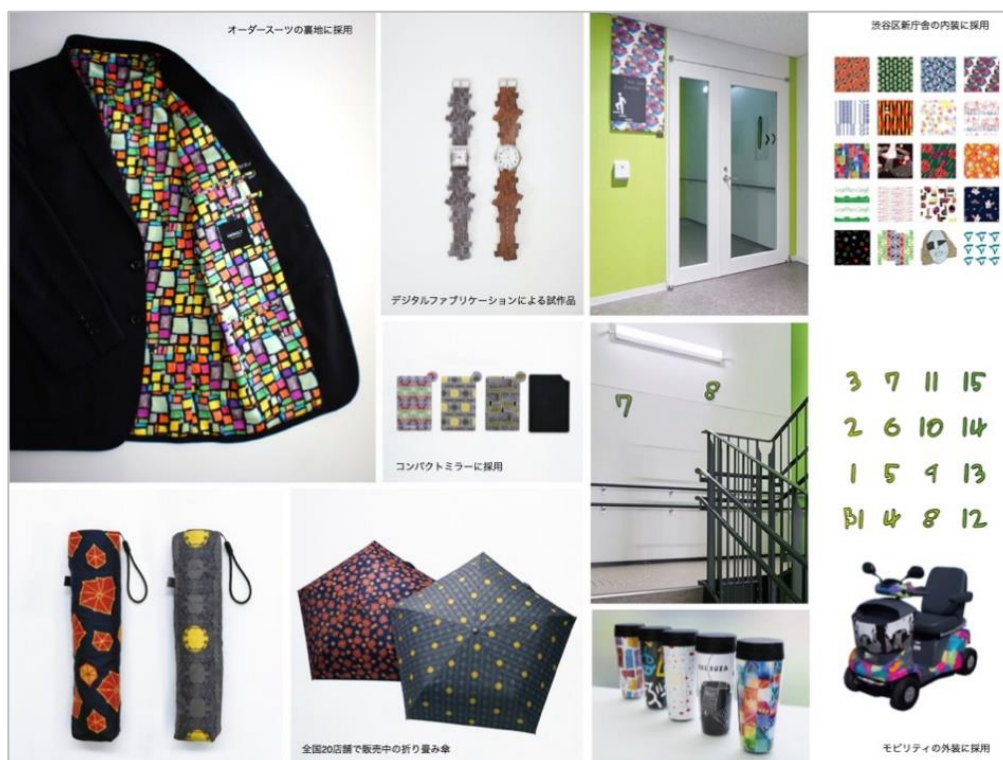
渋谷区を代表する土産に

魅力的なデータラインナップ、扱いやすいライセンス契約、そして渋谷区公認であることを評価いただき、これまで Google、スズキ自動車、ワールド、マグスタイル、ゴールドウィン、ビームス、NTT 都市開発、キヤノンなど 30 社以上の企業の商品に採用いただきました。

販売拠点も、渋谷スクランブルスクエアや渋谷ヒカリエ、アトレ恵比寿、セブンイレブンなど 30 店舗以上を超えており、全国どこでもお求めいただけるようになっています。

また、商品に限らず、渋谷区役所や LINE CUBE SHIBUYA(旧:渋谷公会堂)におけるサインディスプレイや大和ハウス工業の工事現場の仮囲いアート、渋谷区内商店街のチラシ・ポスターなど、多種多様な分野にも採用が広がっています。

さらに、2020 年には都内 62 区市町村の特産品を各 1 点ずつ選定する「TOKYO GIFTS 62」に「シブヤフォント」商品が選定されるなど、名実ともに渋谷区を代表する土産に育っています。



「シブヤフォント」でデザインされた様々な商品と採用事例

278 万円を障がいのある人に還元

「シブヤフォント」採用商品は 2019 年度に総額 2,018 万円を売り上げ、障がい者支援事業所に 678 万円、障がいのある人へは工賃として 278 万円を還元いたしました。

障がい者支援事業所においては、「シブヤフォント」におけるアート活動が仕事として定着し、定期的にアート制作が進められています。

障がいのある人の可能性発掘と学生の成長

障がい者支援事業所にとって、現在はアート制作が新たな仕事となっていると同時に、普段の作業ではなかなか能力が発揮できなかった人が、アートによって新たな可能性を見出すことにつながりました。

定型の作業ができるかどうかで判断される仕事とは異なり、個性的だからこそ評価されるアートの世界が学生の手によってブラッシュアップされ、商品に生まれ変わっています。これは、とても大きな自己肯定感の向上と自信につながります。

※関連記事①[「筆ペンから生まれたオーダースーツ」](#)

※関連記事②[「福祉現場のたった一本の線が、上場企業との商品化につながる」](#)

学生にとっても、授業では得られない実社会での大いなる学びの場となっています。普段は学内で閉じたデザインの学びも、「シブヤフォント」はさまざまな関係者と共同で進め、最後には企業にプレゼンテーションし、優秀なフォント・パターンには企業賞を授与します。

こうした学外での社会人との共同プロセスは、学生が人として大きく成長できる貴重な機会です。

また、商品化されたフォント・パターンは就職活動でのアピール材料にもなっています。

※関連記事[「福祉施設・企業・自治体みんなで学生を育てる「シブヤフォント」はもう”ファミリー”なんじゃないかな」](#)

四方良し事業として高評価

「シブヤフォント」には 4 年間の活動を通じて、10 の障がい者支援事業所、50 名以上の障がいのある人、40 名以上の学生が関わり、30 社以上の企業に採用されました。

共にフォントやパターンを制作する障がいのある人と学生との交流も、大きな成果です。限られた交流になりがちな障がい者支援事業所にとって、学生の訪問は新しい刺激を与えています。

また、学生の中には障がい者支援事業所のイベントにプライベートで参加する人もおり、障がいのある人の存在を身近に感じられるなど、ダイバーシティ理解の貴重な機会にもなっています。

企業にとっても、商品やサービスの魅力向上に加え、SDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)の取り組みとしてもアピールできます。

主催する渋谷区としても、データ活用の広がりとともに「ダイバーシティとインクルージョン」理念への共感の輪が広がり、シティプライドの醸成につながっています。



「シブヤフォント」商品選考会

このように、「シブヤフォント」は産官学福の四方良し事業として持続維持できる構造になっており、各方面において高い評価を得ています。これまでの受賞歴も、「グッドデザイン賞受賞」「ソーシャルプロダクト・アワード 2020 大賞受賞」「東急グループ環境・社会貢献賞受賞(受賞対象:東急レクリエーション)」「桑沢学園賞受賞(受賞対象:桑沢デザイン研究所講師 磯村歩)」「日本サインディスプレイ賞受賞(受賞対象:コトブキ)」など、多数あります。

渋谷発日本初の国際的な取り組みへ

障がいのある人のアート活動が着目されるなか、「シブヤフォント」は多様なステークホルダーによるコ・クリエイション(共創)の全く新しいアート事業となりました。

今、全国各地で「シブヤフォント」をモデルとしたご当地フォント・パターンに高い関心が寄せられています。

また、海外のテレビ番組でも紹介されるなど、渋谷発・日本初の渋谷を象徴する国際的な取り組みにも育っています。

今後も「シブヤフォント」を何十年と続く事業に育てていくべく、自主運営など新たな運営体制も構築してまいります。

文:シブヤフォントディレクター/(株)フクフクプラス代表取締役/桑沢デザイン研究所非常勤教員 磯村歩



「シブヤフォント」新フォント・パターン発表会

※「障害者」の表記に関して:IAUD では「障害者」という表記を使用していますが、「シブヤフォント」の取り組みでは「害」を使用しないようにしているため、今回は「障がい」と表記しています。



在宅でいつでも UD 資格取得できる

オンライン第5回 UD 検定・初級及び第2回 UD 検定・中級開催のご案内

IAUD はオンライン「第5回 UD 検定・初級」及び「第2回 UD 検定・中級」を実施します。

「UD 検定・初級」は、UD に関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験(30分・50問)のセットです。

「UD 検定・中級」は、力試し問題と UD 検定・中級試験(70分・129問)を受けていただきます。試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」(A4判 263ページ)に準拠して出題されます。受験される方は事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に検定試験をお受けください。

初級、中級とも合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には認定証を発行します。

第5回 UD 検定・初級の申し込み受付は5月13日(木)まで、第2回 UD 検定・中級申し込み受付は4月13日(火)までです。この機会に是非、ご参加ください。

※「オンライン第5回 UD 検定・初級」詳細・申し込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第2回 UD 検定・中級」申込みは[こちら](#)をご覧ください。

※公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」ご購入は[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第1回 UD 検定・初級」開催報告を掲載した Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。



中級受験に必須の
公式テキストブック



2021 年 4 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
3/29	3/30 20:00～ 第二回評議員会 オンライン会合	3/31 18:00～ UD+PJ オンライン会合	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 オンライン第 2 回 UD 検定・中級 申し込み締切	14	15	16	17	18
19	20	21 14:50～ 衣の UDPJ オンライン会合	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30		

次号は 5 月上旬発行予定

特集:「第 8 回国際 UD 会議 2021 in ザ・クラウド」UD ワークショップ開催報告ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会

事務局: 〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110

電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net